

**避難指示区域等における詳細モニタリング結果
(モニタリングカーによる走行サーベイ第三十九巡) の公表について**

令和5年11月20日
原子力被災者生活支援チーム

内閣府原子力被災者生活支援チームは、「総合モニタリング計画」(モニタリング調整会議決定)に基づき避難指示区域等(避難指示が解除された区域を含む。)を対象としたモニタリングカーによる走行サーベイを東京電力ホールディングス株式会社の協力の下で実施している。これについては、平成23年11月16日に、警戒区域及び計画的避難区域の主要道路の走行サーベイ結果を公表して以来、第三十八巡までの走行サーベイ結果を公表してきた。

今般、走行サーベイによる第三十九巡のデータが取りまとまったので、それを公表するものである。

今後も本モニタリングを定期的 to 実施し、結果がまとまり次第、順次公表していく予定。

【モニタリング項目及び計測場所】

	モニタリング項目	計測場所
モニタリングカー	道路上の地上1mにおける空間線量率	避難指示区域等の主要道路(国道、常磐自動車道、県道、主要地方道、生活道路)

モニタリングカーによる走行サーベイ(第三十九巡)の概要

【実施期間】

令和5年6月12日(月)～令和5年8月9日(水)

【計測方法】

- 走行サーベイにより計測場所である避難指示区域等の主要道路上の空間線量率を計測
- 走行サーベイは、道路上を走行しながら測定した車内の空間線量率から、道路上1mの空間線量率に換算する方法
- 低線量用及び高線量用の計測器並びにGPSを搭載した車両で、道路上を走行しながら、10m間隔で車内の空間線量率とその計測位置(緯度、経度)を測定
- 低線量用の計測器は第一巡からNaIシンチレーション式サーベイメータを使用
- 高線量用の計測器は第一巡及び第二巡では半導体式エリアモニタを使用し、第三巡からは電離箱式サーベイメータを使用
- 第十巡からは同じ構成のモニタリングカーを1台追加し、2台体制で計測

【計測結果】

今回（第三十九巡）の計測結果を別紙1-1に、1年程度前（第三十七巡）の計測結果を別紙1-2に示す。これを比較すると、全体的に同水準で空間線量率が安定してきていると考えられる。

空間線量率の最高値、最低値及び平均値並びに測定点の数の推移を表1に示す。この表から最高値が若干の上下変動を伴いながら時間の経過とともに低下していることが分かる。また、全域の平均値の推移を見ても最高値と同様に、時間の経過とともに低下していることも分かる。

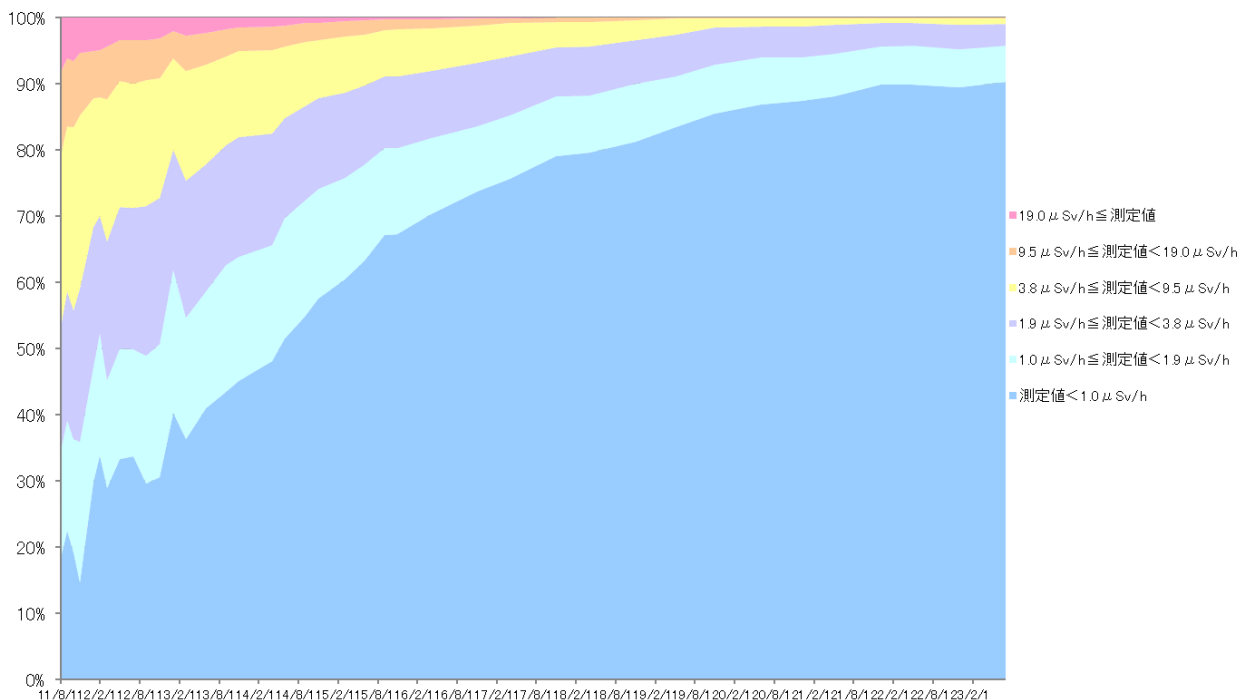
表1 全域の計測結果推移

	1巡	21巡	22巡	23巡	24巡	25巡	26巡	27巡	28巡	29巡	30巡	31巡	32巡	33巡	34巡	35巡	36巡	37巡	38巡	39巡
最高値 ($\mu\text{Sv/h}$)	140	48	48	45	44	41	38	34	30	31	28	24	22	23	22	21	19	19	22	20
最低値 ($\mu\text{Sv/h}$)	0.18	0.0	0.0	0.0	0.03	0.02	0.06	0.07	0.04	0.04	0.05	0.05	0.03	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
平均値 ($\mu\text{Sv/h}$)	7.0	1.7	1.6	1.4	1.4	1.3	1.2	1.0	0.9	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4
測定点 (個)	97512	161990	162962	161502	176470	164066	163273	161929	155475	151807	146780	138968	133866	135221	136999	137974	139366	138264	138824	142701

注) 第一巡のデータは第十七巡の公表結果、第二十一巡～第三十八巡のデータは第三十八巡の公表結果を転記した。なお、紙幅の関係で第二巡～第二十巡のデータは表1から割愛した。(割愛したデータは第二巡～第十七巡については第十七巡の公表時に、第十八巡～第二十巡については第二十巡の公表時にそれぞれ報告済み)

定量的に比較するために、図1に各巡の空間線量率の度数分布を示す。このグラフから、近年は大きな変化は見られないものの、多少の上下変動を伴いながら時間の経過とともに、空間線量率が低い割合が増加している傾向が見られ、また、安定してきていることが分かる。

図1 空間線量率の度数分布の変化



次に、市町村別の第一巡における最高値記録地点の値の変化を表2に、そのグラフを図2及び図3に示す。

測定値のうち、第十二巡の多くの地点及び第二十巡の川俣町で空間線量率が一時的に低下しているのは、積雪の影響と考えられる。また、第二十三巡までの測定方法では、低線量域の測定精度に限界があったため、空間線量率が相対的に低い地点については、測定値にばらつきが見られる。

こうした事情による多少の変動はあるものの、図2及び図3から、ほぼ各地点において、全体的に時間の経過とともに空間線量率が低下傾向にあることが分かる。

表2 計測結果（市町村別の第一巡における最高値記録地点の値の変化）

市町村	1巡	21巡	22巡	23巡	24巡	25巡	26巡	27巡	28巡	29巡	30巡	31巡	32巡	33巡	34巡	35巡	36巡	37巡	38巡	39巡
南相馬市小高区金谷▲	172	4.0	3.5	3.6	3.2	3.2	2.5	2.1	2.0	2.2	1.6	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2	0.9	1.1	1.1	0.9
浪江町井手山田前▲	98.1	19.0	17.4	14.7	13.9	14.0	13.2	11.8	9.0	9.5	7.8	7.2	5.9	5.2	5.6	5.2	4.3	4.7	2.8	2.6
双葉町山田出名子▲	92.5	17.9	16.3	10.6	10.8	8.8	8.8	5.4	4.9	5.1	4.6	3.5	3.4	3.3	3.5	3.2	2.8	2.5	3.1	2.9
大熊町夫沢東台▲	144	25.7	24.3	20.6	22.3	19.7	17.3	16.1	14.3	13.7	9.6	9.7	7.8	7.5	7.6	7.2	6.6	6.7	6.9	6.7
富岡町小良ヶ浜松ノ前▲	23.1	7.0	6.5	5.4	5.8	5.0	4.8	4.3	3.7	3.9	3.3	2.6	2.6	2.7	2.7	2.4	2.0	2.2	2.3	2.1
楡葉町上繁岡下奥海	42	0.4	0.5	0.5	0.4	0.3	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
飯館村長泥曲田△	18.7	7.0	7.0	4.7	5.2	4.9	3.8	3.1	2.8	2.6	2.4	2.0	2.0	2.1	2.2	2.1	2.0	2.1	2.1	1.6
川俣町山木屋広久保山	7.8	1.6	0.8	0.9	0.8	0.7	0.9	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
葛尾村葛尾小出谷▲	32.5	9.8	7.5	6.3	5.1	4.7	4.4	3.9	3.3	3.2	2.9	2.8	2.2	2.2	2.1	1.9	1.7	1.7	2.0	1.8
田村市都路町古道場々	1.1	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
川内村下川内五枚沢	5.9	1.4	1.3	1.1	1.2	1.1	1.0	0.8	0.8	0.7	0.5	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5	0.4	0.5	0.6	0.4

※：単位はμSv/h

注) 第一巡のデータは第十七巡の公表結果、第二十一巡～第三十八巡のデータは第三十八巡の公表結果を転記した。なお、紙幅の関係で第二巡～第二十巡のデータは表1から割愛した。(割愛したデータは第二巡～第十七巡については第十七巡の公表時に、第十八巡～第二十巡については第二十巡の公表時にそれぞれ報告済み)

▲の地点は、帰還困難区域に含まれる。

△の地点は、帰還困難区域となったが、その後避難指示が解除された箇所である。

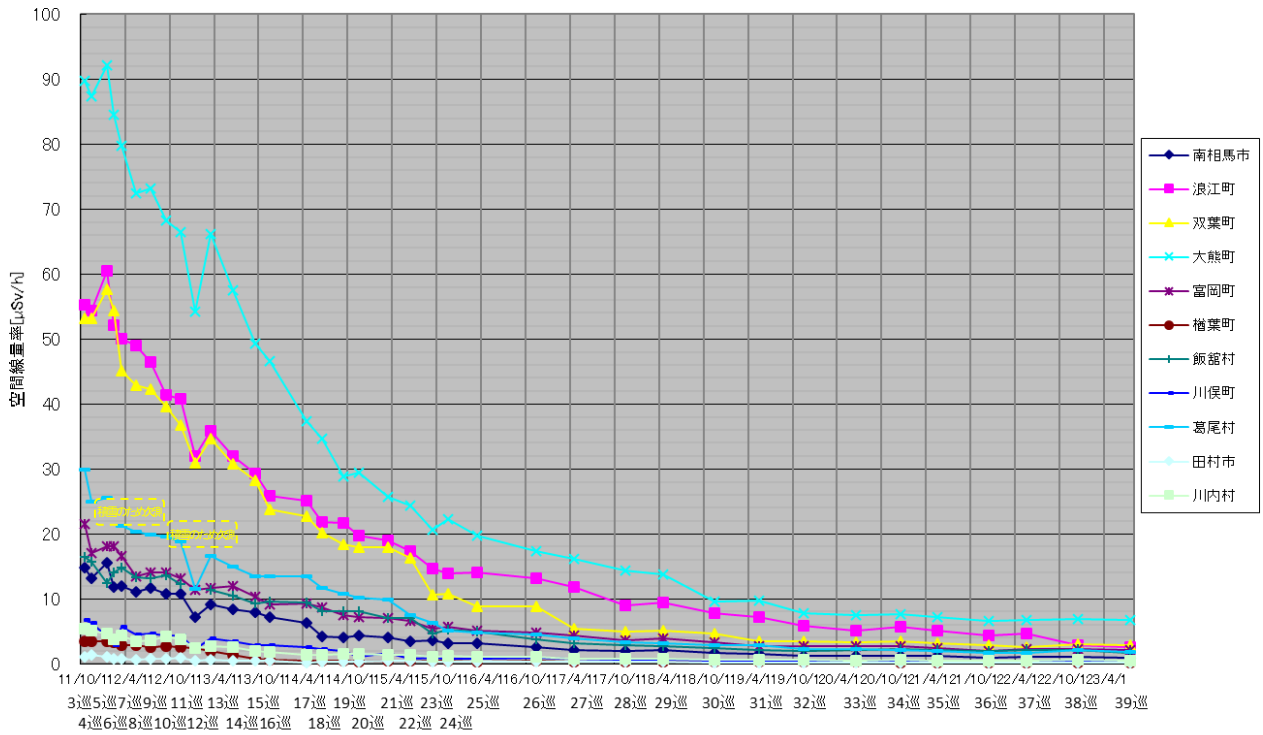


図2 表2の空間線量率の変化

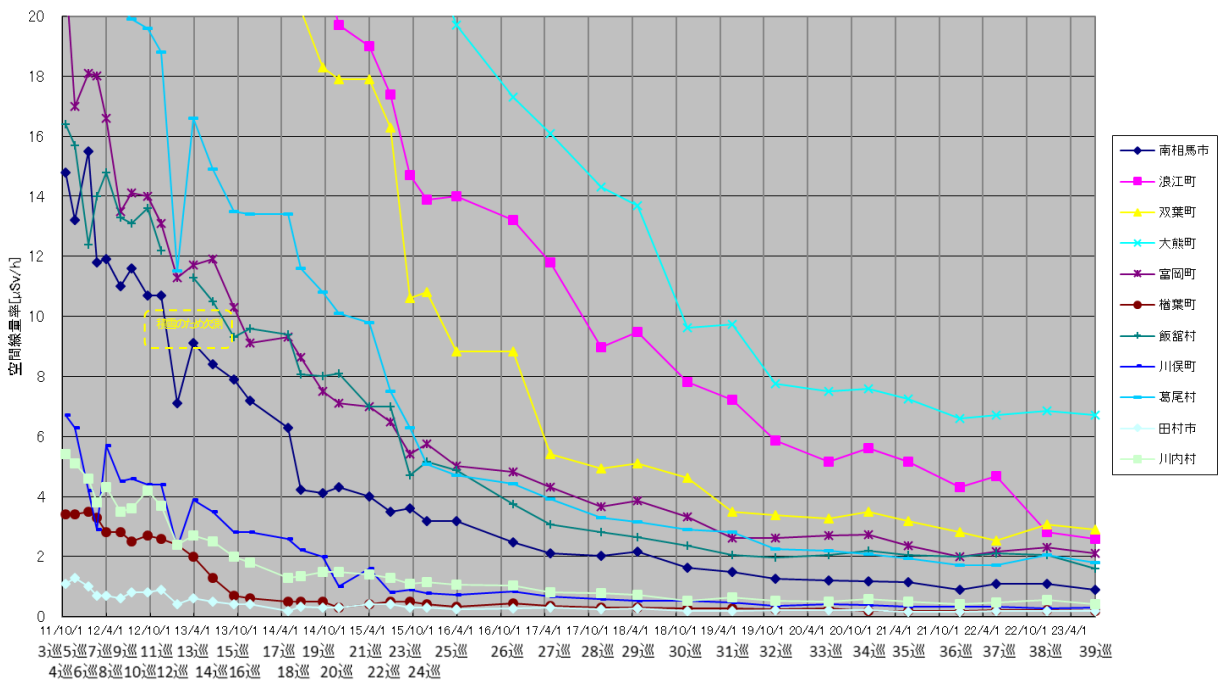


図3 図2のうち20μSv/h以下の拡大

【計測実施者】

東京電力ホールディングス株式会社

(参考)

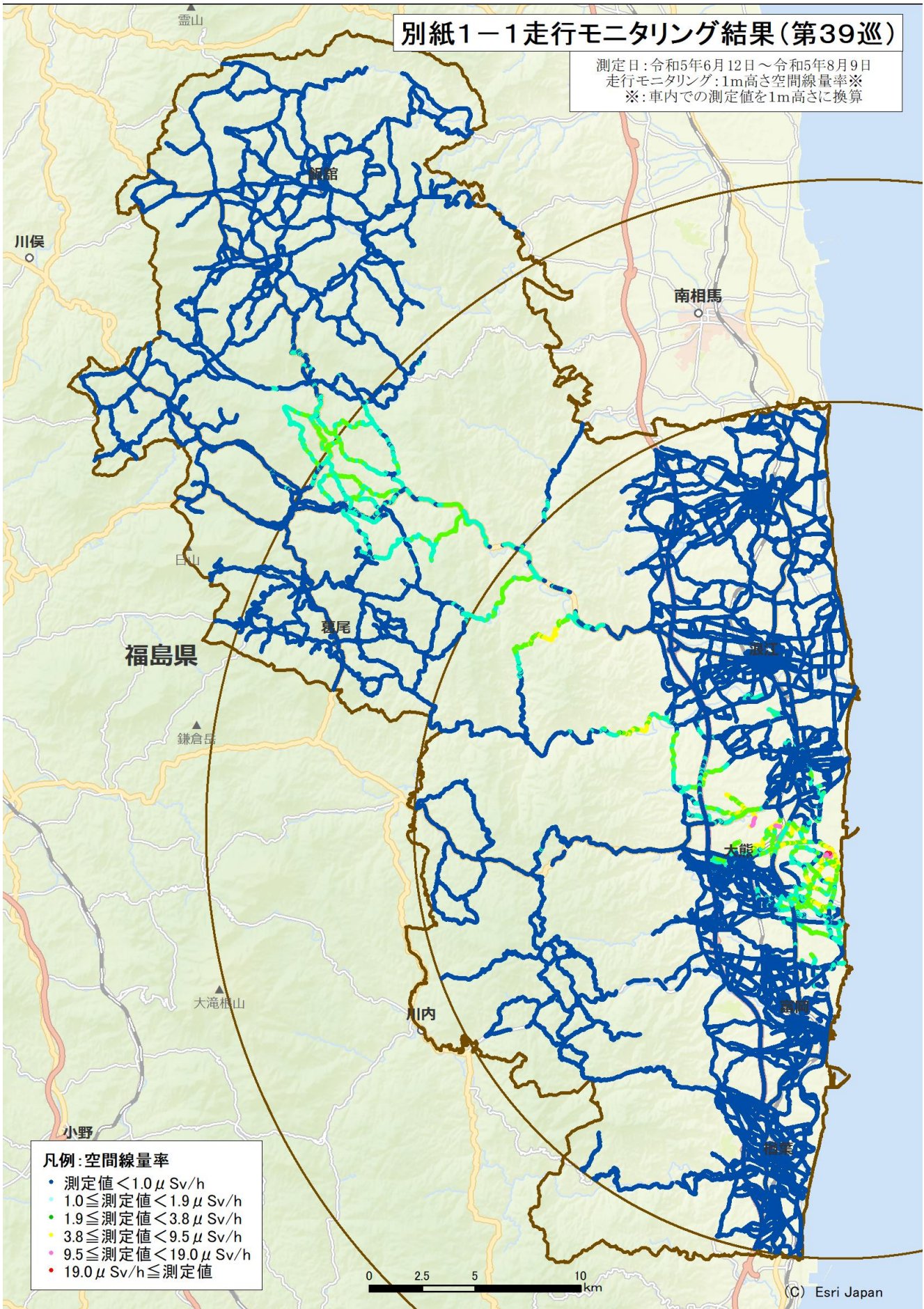
	実施期間	公表結果
第一巡	平成23年8月2日(火)～8月30日(火)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20111116.html
第二巡	平成23年8月31日(水)～10月9日(日)	
第三巡	平成23年10月1日(土)～11月4日(金)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20111216.html
第四巡	平成23年11月5日(土)～12月12日(月)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20120202.html
第五巡	平成23年12月14日(水)～平成24年1月30日(月)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20120229.html
第六巡	平成24年2月4日(土)～3月10日(土)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20120330.html
第七巡	平成24年3月12日(月)～4月16日(月)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20120427.html
第八巡	平成24年5月16日(水)～6月18日(月)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20120627.html
第九巡	平成24年7月4日(水)～8月6日(月)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20120821.html
第十巡	平成24年9月4日(火)～10月18日(木)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20121026.html
第十一巡	平成24年10月31日(水)～12月7日(金)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20121221.html
第十二巡	平成25年1月9日(水)～2月18日(月)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20130313.html
第十三巡	平成25年3月18日(月)～4月19日(金)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20130528_01.html
第十四巡	平成25年6月4日(火)～7月8日(月)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20130808_01.html
第十五巡	平成25年8月27日(火)～10月8日(火)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20131129_02.html
第十六巡	平成25年11月6日(水)～12月3日(火)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20140114_01.html
第十七巡	平成26年3月18日(火)～4月22日(火)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20140527_01.html
第十八巡	平成26年6月3日(火)～7月4日(金)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20140901_01.html
第十九巡	平成26年8月25日(月)～9月30日(火)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20141226_01.html
第二十巡	平成26年10月21日(火)～平成27年1月19日(月)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/20150331_01.html
第二十一巡	平成27年3月16日(月)～4月20日(月)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2015/0626_01.html
第二十二巡	平成27年6月1日(月)～7月22日(水)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2015/0903_01.html
第二十三巡	平成27年8月24日(月)～10月27日(火)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2015/1125_01.html
第二十四巡	平成27年11月5日(木)～12月17日(木)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2016/0215_01.html
第二十五巡	平成28年3月14日(月)～4月27日(水)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2016/0530_01.html
第二十六巡	平成28年11月7日(月)～12月6日(火)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2017/0113_01.html
第二十七巡	平成29年4月4日(火)～5月16日(火)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2017/0602_01.html
第二十八巡	平成29年10月31日(火)～12月8日(金)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2018/0116_01.html
第二十九巡	平成30年4月3日(火)～5月10日(木)	http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2018/0607_01.html
第三十巡	平成30年10月22日(月)～12月13日(木)	https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2019/0130_01.html
第三十一巡	平成31年4月23日(火)～6月17日(月)	https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2019/0801_01.html
第三十二巡	令和元年10月29日(火)～12月16日(月)	https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2020/0130_01.html
第三十三巡	令和2年6月1日(月)～7月22日(水)	https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2020/200904_01/20200904.html
第三十四巡	令和2年11月4日(水)～令和3年1月15日(金)	https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2021/20210326.html
第三十五巡	令和3年4月19日(月)～令和3年6月25日(金)	https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2021/0924-no35_monitoringresult.html
第三十六巡	令和3年11月24日(水)～令和4年1月27日(木)	https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2021/220329_monitoring_result-no36.html
第三十七巡	令和4年4月20日(水)～令和4年6月29日(水)	https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2021/20221017_monitoring_result-no37.html
第三十八巡	令和4年11月7日(月)～令和5年2月2日(木)	https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/release/survey/2023/20230512monitoring-kekka.html

※備考 第二巡の終了日と第三巡の開始日とが逆転しているが、モニタリングカーの効率的運用の都合上、一部で逆転が生じたものである。

以上

別紙1-1 走行モニタリング結果(第39巡)

測定日: 令和5年6月12日～令和5年8月9日
走行モニタリング: 1m高さ空間線量率※
※: 車内での測定値を1m高さに換算



- 凡例: 空間線量率
- 測定値 $1.0 \mu\text{Sv/h}$
 - $1.0 \leq \text{測定値} < 1.9 \mu\text{Sv/h}$
 - $1.9 \leq \text{測定値} < 3.8 \mu\text{Sv/h}$
 - $3.8 \leq \text{測定値} < 9.5 \mu\text{Sv/h}$
 - $9.5 \leq \text{測定値} < 19.0 \mu\text{Sv/h}$
 - $19.0 \mu\text{Sv/h} \leq \text{測定値}$

0 2.5 5 10 km

(C) Esri Japan

別紙1-2 走行モニタリング結果(第37巡)

測定日: 令和4年4月20日~令和4年6月29日
走行モニタリング: 1m高さ空間線量率※
※: 車内での測定値を1m高さに換算

